

“新”産地化への道

山口県繊維加工協組
シンポジウムより

4

岡部 素材やテキ스타イルの視点から山口へのアドバイスを開かせてください。

岡部 素材やテキスタイルの視点から山口へのアドバイスを開かせてください。キスタイルの需要が減少するからとい

「山口」を消費者に伝えられる時代へ

「ード」でやの今後に向けて多くのこ
られてしま 意見をいただきました。
いますよ。こうしたことの積み重ね
つまり今 が、産地のカラーを作っ
ていくことになると思
います。今後縫製とい
う基幹部分を守りながら長
期的な展望を考えていき
たい。新しい産地化に向
けて、まず一歩踏み出す
ことが歴史を作っていく
ことになりま

は、どうもありがとうございました。
（おわり）



山口から「メイドイン・ジャパン」を発信する(写真は昨年の「ジャパン・ファッションデザインコンテストin山口」大賞作品)

宇治 現在、日本は衣 えば、早く 料品の輸入浸透率が極め からアパレ て高く、それこそ輸入し ルが縫製を 放題です。一方、メイド 海外移転させてしまった 花・綿紡織関係者が集ま っている分野といえば、シ 製のだから、生地も トを取材しました。そ ーンズと、やはり山口で 中国で手配しよう”とい ことでリーバイ・ストラウ ースのCSR担当副社長で いる。日本のアパレル・ 流通も、このあたりを考 える時代が来るはず。そ ームです。そして、国 つまり、国内縫製が無い あるマイケル・コポリ氏 えておかないと、いざ規 産テキスタイルが存在感 ことには、国産テキスタ が「リーバイスも3年以 制ができたときに、また 指すべきです。

つまり、国内縫製が無い あるマイケル・コポリ氏 えておかないと、いざ規 産テキスタイルが存在感 ことには、国産テキスタ が「リーバイスも3年以 制ができたときに、また 指すべきです。

岡部 今回、山口産地 ことが歴史を作っていく

- パネラー
- 日本モデリスト協会事務局長 本多 徹 氏
 - 山口井筒屋 社長 河内一彦 氏
 - 山口経済研究所 調査研究部長 宗近 孝憲 氏
 - 本紙「繊維ニュース」記者 宇治 光洋
 - コーディネーター
 - 山口県繊維加工協同組合 理事長 岡部 泰民 氏